

J R 東海労働組合関西地「申」第28号
2021年3月2日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「曙ブレーキ工業の検査データ改ざん」に関する緊急申し入れ

2月16日、マスコミで「ディスクブレーキとライニング」を製造している、「曙ブレーキ工業」が自動車用部品の検査データを改ざんしたと報道された。

その内容は、国内の4つの工場で製造したブレーキ部品の検査で「耐久性などに関する数値の改ざん」や「過去のデータを流用して検査したようにみせかけた」などの不正が11万4271件にもなっている。このメーカーは、新幹線や在来線などの鉄道車両のブレーキも開発・製造し、特に新幹線のディスクブレーキでは国内約50%のシェアを有しており、N700系をはじめとした新幹線のディスクブレーキにおいて高いシェアを誇っている。

については、J R 東海会社も曙ブレーキ工業会社との取引や部品等を使用している場合、極めて安全上問題があると考えます。よって、お客様が安全に利用し、乗務員が安心して働けるために、緊急に以下の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催すること。

記

1. 曙ブレーキ工業との取引を行っているのか明らかにすること。
2. 仮に取引がある場合、新幹線用部品に改ざん等はないのか明らかにすること。
3. 新幹線用部品、検査内容について状況が分かるまで、同社部品の使用を止めること。
4. 全編成の緊急点検を早急を実施し、その結果を乗務員、労働組合に明らかにすること。

以上